

取組事例 観光資源の活用による町に人を呼び込む取組の推進

(えりも町)

えりも町では、景勝地・襟裳岬、新たな観光資源であるハート形の自然湖「豊似湖」、国の史跡に指定された「猿留山道」を活用した観光振興を図っています。

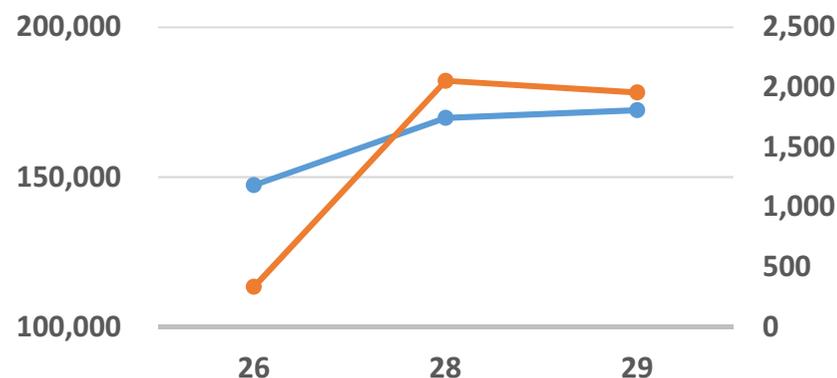
観光振興

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
豊似湖観光客	335	1,958	3,000	65.3
観光客入込数	147,370	172,400	163,000	105.8

取組の推進体制

役場、漁業協同組合、商工会、えりも観光協会等と連携・各イベントの実行委員会を組織し推進。豊似湖観光ではJTBと連携してヘリコプター遊覧飛行イベントの実施。

観光客入込数と豊似湖観光の推移



豊似湖ヘリ遊覧飛行、廃校舎を改装した休憩施設の整備を進めることで、豊似湖観光客が増加。H28～H29は横ばいとなったが、猿留山道が国の史跡指定を受けたこともあり今後の入込数増加を見込んでいる。

取組事例

インバウンド観光の対策や施設整備による利便性の向上

インバウンド観光客の対策

- 主な取組
新たな観光資源である豊似湖を外国人を含めた多くの観光客にPRするため観光案内看板の多言語化を実施。
- 主な成果
外国人にわかりやすいだけでなく、写真を挿入することにより豊似湖観光客数が増加。



施設整備と利便性の向上

- 主な取組
JTBと連携し豊似湖ヘリコプター遊覧飛行事業を実施。
廃校舎を改装し、「森と湖の里ふれ愛館」を開設。
- 主な成果
休憩施設を整備することで、遊覧飛行や豊似湖、猿留山道を散策する観光客の利便性が向上し、入込数が増加。

